

最終講義



相談援助技術

～ 価値と知識 ～



相談援助技術について

第 1 章

価値と姿勢

価値とは？

ナイフは～

それを使って人を傷つけることもできれば
それを使って美味しい料理を作ることもできる

価値：人を傷つける

価値：美味しい料理を作る

ナイフの知識：１００

ナイフの知識：１００

ナイフの技術：１００

ナイフの技術：１００

何に価値を置くかによって、その人の行動が変わる

Dignity - 尊厳とは？

Dignity 尊厳とは～

この世界はあらゆる人がいて
成り立っていることを思い起こすこと



自分の世界観をちょっと広げる
すでにあるけど見落としがちなことや、
知らない世界に目を向ける

見えない人に支えられて
見えない人を実は支えている

本当のグローバルとは？

ローカルこそが実はグローバル

～ この世界の大半はローカルである ～

外に広げるのではなく内側に帰ることに本質あり

サービスとは？

サービスとは「貢献」のこと

～ 僕らのサービスは,単なる商品サービスではない～

スピリットとは？



~スピリット~

どんな人であろうとも魂は美しい

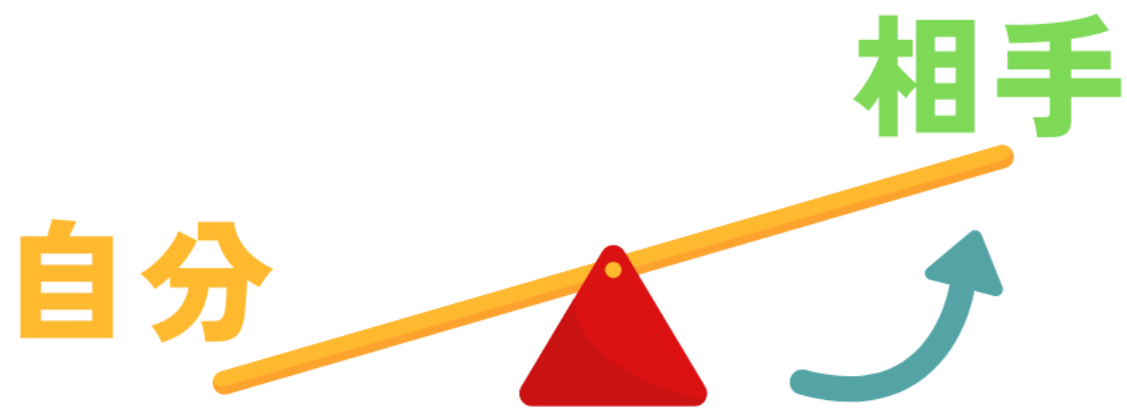
Not Accident

あなたは親から望まれて生まれてこなかったかもしれないが
神様はあなたを望んでつくったんだよ

ストレングスとは？

ストレングス

自分が下がることで相手を上げること



※相手を引き上げるとかではない

ホスピスから学ぶ傾聴とは？

ホスピス

一に聴いて、二に聴いて、三に聴く

聴くことしかできない

People First

はじめに人々から考えるとは？

最初に、「人々」を考えよう！



スティグマ（烙印）、ラベリング（レッテル）

“生活保護受給”者、“〇〇障害”者、“認知症”の人など

〇〇の人

ではなく

People with dementia

People with disabilities

Elderly persons
Requiring long-term care

人が先 呼称が後

People first

“人”や“人々”を先にみて

“その人のまま”を“その人のままに”

With People ~ 人々と共にとは？

人々のために (To People)
ではなく
人々と共に (With People)
という在り方をとる

第 2 章

人間に関する知識

防衛機制とは？

防衛機制とは？

不安や危機といったストレスに対して、
無意識に働く心の防衛反応のこと

抑圧

反動形成

投影

取り消し

退行

置き換え

合理化

昇華

知性化

防衛機制には人それぞれ生じやすい癖がある

条件反射とは？

条件
反射

動物脳

1 対 1 対応

入力に対して決まった出力



人間脳

1 対多 対応

入力に対し複数の出力

どちらにアプローチするか？



物事の一連の動作を細分化すると反射の連続

動機付けとは？

ハーズバーグの動機付け衛生理論

衛生要因（不満足感に関わるが満足感にはつながらない）

→ 給与、人間関係、労働条件など

動機づけ要因（満足感につながる要因）

→ 達成、やりがい、他者からの承認など

マクレガーのXY理論

X理論（性悪説）：アメとムチ、強制しなければ働かない

Y理論（性善説）：自主性や自己実現を尊重

Y理論の方が望ましい

高EEとは？

高EEとは？

精神疾患の再発率を大きく上げてしまう接し方

高EE家庭

指示的

敵意

情緒巻き込まれ型

低EE家庭

共感的

支持的

適度な距離を保つ

バイアスとは？

人は見たいように見る

- ・ **確証バイアス**
自分の価値観に合う情報を集め
そうでないものは無視
- ・ **バックファイアー効果**
確証バイアスに加え
自分の世界観に固執する
- ・ **認知的不協和**
自分の信念と矛盾
するものに不快感

みんなと同じようにする

- ・ **利用可能性ヒューリスティック**
怪しい情報も繰り返し見聞きされると
その情報は正しいと認識してしまう
- ・ **バンドワゴン効果**
みんなが選ぶものはいいもの
- ・ **同調圧力**
少数派が暗黙のうちに多数派の
意見を迎合

フィルターバブル

ユーザーの個人情報を
学習したアルゴリズム



その人にとって
興味関心ありそうな
情報ばかりやってくる
ような情報環境

社会的影響を受ける

- ・ **社会的ネットワーク**
自分はどんな人とつながって
いるか（似た人、近い人から
影響を受けやすい）
- ※自分が気づいていないだけで
様々な選択をするにあたって
他者から大きな影響を受けて
いる

感情は（道徳的感情も）伝わる

- ・ **情動感染**
喜怒哀楽が人から人へと伝わる
（オンラインコミュニケーション
でも伝わる）
“怒り”は最も拡散される
- ・ **道徳的感情**
ある調査では道徳的感情
（安心・信頼・暴力など）が一つ
増えるごとにリツイートが20%増える
つまり情報拡散を促進

エコーチェンバー



閉じた小部屋で音が反響する
物理現象に例えたもの

同じ興味や関心を持つ
ユーザーをフォロー

閉じた情報空間

同じ情報
そっくり
な意見

第 3 章

相談援助技術

知識と技術



知識と技術は一緒である

バイステックの7原則

バイステックの7原則

7つのニード

7つの原則

個別化

クライアントを個人として捉えること。

クライアントはケースとしてではなく、一人の個人として迎えられる、対応して欲しいというニードがある。

意図的な感情表出

クライアントの感情表現を大切にすること。

クライアントは、否定的な感情と肯定的な感情のどちらも表現する必要性を持っている。

統制された情緒的関与

援助者は自分の感情を自覚して吟味する。

クライアントは、弱さや欠点、失敗をもっていても、一人の価値ある人間として受け止められたいというニードがある。

受容

受け止める。

クライアントは感情表現に対して共感的な理解と適切な反応を得たいと望んでいる。

非審判的態度

クライアントを一方向的に非難しないこと。

クライアントは陥っている困難について、一方向的に非難されたり、叱責されたくないと考えている。

自己決定の尊重

クライアントの自己決定を促して尊重する。

クライアントは、自分の人生に関する選択と決定を自ら行いたいとするニードを持っている。

秘密保持

秘密を保持して信頼感を醸成する。

クライアントは、自分に関する内容の情報をできる限り秘密のままを守りたいというニードを持っている。

アイビィのマイクロカウンセリング

技法の統合

技法の連鎖および面接の構造化

対決

積極的技法

意味の反映

感情の反映

はげまし、言い換え、要約
開かれた質問・閉ざされた質問
クライアントの観察技法

かかわり行動

基本的
かかわり
技法



診断主義アプローチ

フロイトの精神分析理論

時系列は「過去」

行動の原因を探ることを重視

機能主義アプローチ

ランクの意思心理学

時系列は「現在」

人間が持つ創造力を重視

問題解決アプローチ

問題解決アプローチ

パールマンは、人間（person）は生まれてから死ぬまで
たえず何らかの問題に取り組んでいく存在と捉え、
問題解決過程それ自体を
その人生で遭遇する問題を解決するためのツールと考えた。

したがって問題解決アプローチは、
クライアントの問題を解決するための方法という次元からのスタートではなく、
人間としてその人生（過程）を生き抜く中で取り組む問題を解決する方法、
という次元からスタートしていく。

診断主義と機能主義の折衷論

人・場所・問題・過程：4つのP

課題を扱いやすい単位に細分化：部分化

支援機関と効果的に関わる能力や
問題を何とかしたいとする動機：ワーカビリティ

ソーシャルワーク専門職の グローバル定義

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、
および人々のエンパワメントと解放を促進する、
実践に基づいた専門職であり学問である。

社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、
ソーシャルワークの中核をなす

ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、
および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、
生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、
人々やさまざまな構造に働きかける

この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい